

2025 年度一般選抜（コア試験）

出題ポイント

地理総合＋地理探究

解答

- I. 問1 A い B お C え D あ E う
 問2 ①E ②A ③D
 問3 (1)アラル海
 (2)(解答例) ソ連時代の1960年代から乾燥地域の灌漑農地の開発を進め、アラル海に流入するアムダリア川やシルダリア川から大量に取水し、綿花を栽培するようになった。その結果、アラル海への流入量が激減し、アラル海は縮小の一途をたどった。
 (3)(解答例) アラル海が縮小したことで、漁業や水運は崩壊した。農地では過剰な灌漑によって塩害が起これ、周辺地域での農業も困難になっている。
- II. 問1 ①メタン ②フランス ③コーヒー ④食糧農業
 ⑤肥料 ⑥デンマーク ⑦経済協力開発機構
 問2 A 南アフリカ B イギリス C ロシア
 D サウジアラビア
- III. 問1 ①エ ②ア ③ウ ④イ
 問2 A カ B オ C ケ D エ E キ
 問3 トルティーヤ
 問4 ①さとうきび ②カーボンニュートラル
 問5 (解答例) 人口増加による需要増、所得向上による食生活の変化、気候変動、異常気象、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞、石油価格の高騰による輸送費の上昇、肥料価格の高騰、紛争、投機資金の流入
- IV. 問1 ①産業の空洞化 ②モノカルチャー経済
 問2 (1)X:原料指向 特徴:(解答例) 重く嵩張るものを原料とする工業は、生産コスト(輸送費)削減の観点から、工場は原料産地に立地する。
 (2)輸出指向
 問3 (解答例) 東西冷戦下における先端技術を用いた兵器など軍事的な工業製品の開発・製造
 問4 (解答例) 製造業の転出に伴う失業者の増加、建物の老朽化(荒廃)、治安の悪化など居住環境の悪化により人口が流出し、相対的に貧困世帯やエスニックマイノリティの割合、犯罪率などが高くなるインナーシティ問題
- V. 問1 A 黄河(ホワンホーも可) B ホワイ川(淮河も可)
 C 長江(揚子江、チャンチアンも可)
 D チンリン(秦嶺も可)
 問2 華北
 問3 北側 小麦(トウモロコシ、大豆、綿花も可)

南側 米(茶、菜種、綿花も可)

問4 北側 (解答例) 水不足による干ばつ

南側 (解答例) 洪水

問5 (解答例) 治水、発電、用水、洪水防止など

※いずれか1つ書けていれば可

VI. (解答例) 南部諸州とカリフォルニア州に多く分布する。スペイン語圏からの移住者で英語の普及率が低く、所得水準も低い場合が多い。

解答の際の留意点

- I. 中央アジアの地誌に関する問題です。教科書を丁寧に読みこむことで正解を導けます。
- II. 農業と環境問題、食品ロスとの関わりに関する問題です。問1は教科書によく出てくる基本的な内容です。問2は、固体燃料を使用しないD国がサウジアラビアと気づき、数値の大きいC国がロシアと分かれば固体燃料と液体燃料の比率からA国、B国が判明します。
- III. 世界の食料生産、特に穀物に関する問題です。問2のような統計問題は数値の大きい1位、2位の国に普段から着目しておくことで解きやすいです。米が2位のA国がタイと気付けばB国C国E国は比較的たやすく導けます。小麦が5位・とうもろこしが3位のD国は、チェルノーゼムで穀倉地帯を有するウクライナであるという正解にたどり着けます。
- IV. 世界の工業の発達に関する問題です。問1はほとんどの受験生が解けた基本的な問題です。問2は教科書の「工業の立地」を丁寧に読むことで正解を導けます。問3は冷戦下での工業の発展、すなわち兵器工業製品の開発・製造に気づくこと、問4はインナーシティ問題に気づくことが正解に向かう糸口になります。
- V. 中国の地誌に関する問題です。本学の「地理」では、中国の地名はかたかな表記、漢字表記のどちらも正解としています。問3は代表的な農産物(小麦や米)を問う出題ですが、現地の状況を考えあわせると複数の正解が考えられます。問5は中国にある多くのダムが目的が1つでもわかれば正解です。「舟運改善のための流量の供給」も正解となります。
- VI. アメリカ合衆国のヒスパニックに関する問題です。「暮らしの特徴」については宗教や言語、経済状況などを叙述することで正解を導けます。

解答

- I. 問1 ① ピレネー ② スペイン ③ モナコ ④ モンブラン
⑤ ライン ⑥ アルザス ⑦ ルクセンブルク
⑧ ベルギー ⑨ 混合 ⑩ オリーブ（コルクガシも可）
問2 移牧
問3 A キ B ウ C オ D カ E エ F ア G イ
- II. 問1 A インダス B ガンジス C デカン D ヒマラヤ
E ベンガル
問2 ア ① イ ⑤ ウ ④ エ ③ オ ②
問3 (1) (ア) b (イ) a (ウ) c (エ) d
(2) 緑の革命
- III. 問1 X 海岸 Y 三角 Z 潟（海跡も可）
問2 (1) ア 亜寒帯（亜寒帯湿潤、冷帯、冷帯湿潤、Df、D も可）
イ やませ ウ フェーン エ 季節風（モンスーンも可）
オ ヒートアイランド
(2) a 小 さ b 厳 しい c 大 き d 少 な e 少 な
(3) (解答例)
都市部はコンクリートやアスファルトなど蓄熱しやすい建材の被覆率が高く、気温が上昇しやすい。その結果、上昇気流が発生して雨雲が形成されやすく、豪雨に見舞われることがある。緑化による気温上昇の緩和や透水性の建材を多用したりするなどの対策が進められている。
- IV. 6, 13, 14, 15（順不同可）
- V. 問1 ① プライメートシティ ② スラム
③ ストリートチルドレン ④ インナーシティ
⑤ ジェントリフィケーション ⑥ ニュータウン
⑦ スプロール ⑧ ドーナツ化
問2 (解答例)
人口爆発が起きた発展途上国の農村では、農業の機械化などによって余剰労働力が増加した。仕事を失った人々は就業機会を求めて、産業が未発達で労働需要の少ない都市へ人口移動するようになった。
問3 (解答例)
バブル経済が崩壊したのち、地価が下がったため、都心近くでも高層マンションの供給が増加した。こうしたマンションには、職住近接を志向する若年層の共稼ぎ世帯や子育て世代が入居するようになった。
- VI. ① (解答例)

トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること

- ② (解答例)
各地からの航空路線が集中し、乗客や貨物を目的地となる他の空港に中継する機能を備えた、地域の拠点となる空港
- ③ (解答例)
海底に敷設、埋設された電力用又は通信用の伝送路一般
- ④ (解答例)
携帯電話会社が保有するアカウントに基づくモバイル決済システム
- ⑤ (解答例)
インターネット等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間にもたらされる格差のこと。

解答の際の留意点

- I. フランスの地誌に関する問題です。問1の⑥は地図帳に載っている地方名で世界史とも関連する内容です。問3は数値の大きい1位、2位の国に着目して解きます。石炭・石油が多いD国がドイツ、逆に石炭の少ないE国がスイス、原子力が多いA国がフランス、数値の規模が小さいF国がアイスランド、水力が多いC国がスウェーデン、逆に水力の少ないB国がオランダと判明します。
- II. 南アジアの地誌に関する問題です。問1は基本的な地名です。普段から地図帳等に目を通しておくとうよいです。問2は①～⑤の国の宗教の割合に合わせて選択すれば正解を導けます。問3は②国、すなわちインドの州名を覚えなくても、農産物の分布の特徴をつかんでおくことで正解を導けます。
- III. 問2の(1)の「ア」は解答が複数存在します。本学の「地理」ではこのように解答を1つに定めない出題もあり採点時に適宜対応しています。
- IV. SDGsに関する問題です。教科書等にも載っているロゴ等を一度は復習しておくことが大切です。
- V. 都市に関する問題です。問1は正解率がかなり高かった基本問題と言えます。問2・問3は教科書を丁寧に読んでおくことと対応できる問題です。社会の様相の変化はメディアからの情報からも取得できます。普段から時事問題にも目を向けておくことが大切です。
- VI. 世界の交通・通信に関する用語についての問題です。④のモバイルマネーは、モバイル決済や電子決済等と同じような用語であり、昨今のスマホ等を使った紙幣ではない「お金」を指す決済システムです。

解答

- I. 問1 (1)a う b お c か d う
(2)①B ②F ③D ④E ⑤C
(3)ウ、オ (順不同可)
- 問2 (1)① イスラーム (イスラムも可) ② キリスト
(2) (解答例)
サブサハラ地域では、深刻な貧困問題が存在している。
全人口の4割以上が1日1ドル未満で生活していて、
飢餓率も35%を超えている。この貧困問題は、経済成長を妨げる大きな要因となっている。
- II. A オ B ア C ク D サ E ウ F カ G ケ H キ
- III. 問1 A オビ川 B エニセイ川 C レナ川
問2 自動車輸送等の船舶を除く輸送機関
問3 ① パイプライン ② 黒 ③ バルト ④ c ⑤ d
問4 北極海航路 (北極海ルートも可)
- IV. 問1 A Dw B Af C BW
問2 D イ E コ F ア G ウ H カ I ク
問3 ア f ケ a コ c
問4 (解答例)
X 砂漠の成因
偏西風がアンデス山脈を越えるとき、アンデス山脈の風上側で雨を降らせる。アンデス山脈を越えた風は、乾いた下降気流となる。
Y 砂漠の成因
海岸沿いを寒流のベンゲラ海流が流れているため、大気の下層が冷涼、上層が温暖の安定構造になり、上昇気流が発生しにくい。
Z 砂漠の成因
亜熱帯高圧帯の影響下で、ほぼ一年中、下降気流が卓越する。そのため、雨を降らせる原因である上昇気流が生じにくい。
- V. 問1 ① アボリジニ (アボリジナル、アボリジニー、アボリジナルピープルも可)
② イギリス ③ 乾燥 ④ ゴールドラッシュ
⑤ EC (ヨーロッパ共同体も可)
問2 掘り抜き井戸 (鑽井も可)
問3 白豪主義
問4 (解答例)

第二次世界大戦の従軍、製造業の発展や鉱山開発・ダム建設、鉱産資源・羊毛や穀物などの農産物の輸出拡大により人手不足が進行した。

- 問5 (1) (解答例)
一つの国家や社会のなかに、複数の異なる人種・民族・集団のもつ文化が共存することを認め、各文化の独自性を尊重し、民族間の平等と協調のもとに国家や社会をつくっていかうとする考え方
(2) (解答例)
教育や医療、公共サービスなどの住環境や雇用機会が異なることにより、住民間で経済的な格差が固定・拡大する。またそれにより社会が不安定化し住民同士の対立がおこる。
- 問6 APEC
- VI. 問1 A 日本 B エチオピア C フランス
D オーストラリア E ブラジル F インドネシア
問2 (解答例)
サウジアラビアで30～50代の男性が多いのは、海外からの出稼ぎ労働者が多いためである。

解答の際の留意点

- I. アフリカの地誌に関する問題です。問1(1)は問題文に「ただし、同じ記号を複数回、使用してもよい。」を加筆修正しています。試験会場の板書で告知済みです。問2(2)は次のような別解も可です。「多くのサブサハラ諸国は、鉱業や農業などの一次産品に強く依存している。この一次産品依存は価格変動リスクや経済の多様化不足、財政の不安定性などの問題を引き起こしている。」
- II. 世界の農業に関する問題です。教科書をよく読んで基本的な事項をおさえておくことが大切です。
- III. ロシア周辺の地誌に関する問題です。問3の①は「ウクライナ」や「トルコストリーム」から黒海と分かり、「ノルドストリーム」すなわち「北の流れ」はバルト海と分かります。「ノルド」が不明でも南に対する北でバルト海を導けます。
- IV. 世界各地の気候に関する問題です。問1のAは気温と降水量の数値の変化からD気候と分かり、冬季の降水量からDwと判定できます。問4は砂漠の成因を整理しておくことと正解にたどり着けます。主に、回帰線砂漠(Z砂漠)、内陸砂漠、海岸砂漠(Y砂漠)、雨影砂漠(X砂漠)の4つがあり解答例に示した通りです。
- V. オーストラリアの地誌に関する問題です。問5の解答例の内容は、多文化主義や多文化共生等に関して一般的な知見です。昨今のキーワードですので復習しておくことをお勧めします。

VI. 人口に関する問題です。教科書には人口ピラミッドの読み取り方が出ているので丁寧に読み取っておけば正解を導けます。多くは男女対称に近い形を表しますが、サウジアラビアは男性が特異な形を表している特徴的な国と言えます。